

二〇一九年度

沖縄大学 一般入試（前期）

# 「国語」

・法経学部 法経学科

・人文学部 国際コミュニケーション学科

福祉文化学科

こども文化学科

・健康栄養学部 管理栄養学科

国語

※答はすべて解答用紙に書きなさい。

【問題】 つぎの文章は、沖縄戦で「ひめゆり学徒隊」を引率した仲宗根政善が、一九八四年二月十八日に書いた日記です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 死ぬ思いと死ぬような思い。

沖縄戦を体験したわれわれは、戦後生まれて来た若い世代に、その体験を伝える①ぎむがある。しかし体験を伝えるためにもっとも肝要なことは、沖縄戦で犠牲になった二十余万の人々が如何なる思いで死んで行ったかを伝えることである。戦争体験の継承とは、その死の思いをいかに伝えるかであり、これは②至難なことである。しかし、少しでもこれにせまって行かないでは、戦争体験の継承にはならない。

われわれは沖縄戦の体験をして死ぬような思いをして九死に一生を得た。それは死ぬような思いであって死ぬ思いではない。死ぬ思いと死ぬような思いとは、③隔絶してその差ははかり知ることが出来ない。沖縄戦でなくなった二十余万の人々は、死ぬ思いをして死んで行ったのである。生き残った者はどんな苦しい死ぬような思いをしたからとて、死ぬ思いをせず生のよろこびを感じている。生き残った者は、再び親に会い妻子にあつて、より以上の喜びを感じた。【 A 【ふりそぐ月の光をあび、大地から芽える青葉を、以前よりも美しく④ながめたのである。

広島原爆のピカドンで十数万の人間が一瞬にして爆死した。その正確の数字は今もつかめていない。沖縄戦は二十年三月二十六日米軍の慶良間侵攻にはじまり、九月七日日本軍の正式⑤こうふくに終わり五カ月余にわたった。それ以前にも対馬丸が米潜水艦に撃沈されて多数の犠牲者を出す等の事件がおこっている。

沖縄戦における犠牲者は二十余万といわれている。これも広島と同様正確な数字はつかめていない。官民がこの正確な数字をはじき出そうとする努力もたりなかったが、しかし如何に努力しても⑥どうして正確な数字はつかめない。住民の犠牲は十五万余といわれ、当時の人口の三分の一と⑦すいていされている。これも正確な数字ではない。確実に数字のつかめないところに沖縄戦の実相があるともいえる。

広島原爆の死傷を上廻る。

広島原爆は一瞬にして十数万の人間が、爆死した。人類の歴史にかつてないショッキングな事件であり、世界の人々はノーモアヒロシマを叫んで、平和への原点となっている。

広島島の爆死とちがい沖縄戦では五カ月余にわたって一人一人がちがった死に方をしている。その死にざまは (A) 千差万別であった。

沖縄戦の場合一人一人は点と線とを辿っているといつてよい。隊をくんで同じ行動をした者も鉄の暴風雨に吹きすさまれて、お互いの行動はわからなかった。

われわれは南風原陸軍病院の壕で、患者の⑧かんごをした。隣の壕内で如何なることが起こったか

さえ知らなかった。生徒たちは隣の壕で友達が戦死したことも気づかなかったという。一人一人は点と線をたどったのであり、その一人一人の体験が総合されなければ、(2) 沖繩戦の実態はつかめないのである。

沖繩戦で犠牲になられた人々の死も(A) 千差万別である。【 B 【敵弾で爆死した兵士の数は多かるう。その中には負傷して、戦野に放置されて最後に死にたえた者も多かった。

敵弾だけが死の原因でもなかった。集団自決を命ぜられたり、あるいは集団自決に追い込まれた者も多い。親は子を殺し、子は親を殺し、兄弟姉妹殺し合った。肉親が互いに殺し合わなければならぬ⑨窮地に追い込まれたのである。

壕の中で泣きさげぶ幼児をとがめられた。兵に殺された幼児があり、追い出された血迷った母に殺された者もある。死んだ母の乳をしゃぶりながらついには⑩屍の上で死にたえた乳飲児もある。見捨てられて壕の中に、あるいは砲弾に死にたえた老人もあった。自らの生命を絶って自決した者も多く、ミルクに青酸加里を入れて飲まされた者も多い。根限り⑪泥濘の中をはいまわり、力尽きて死んだ者もある。

対馬丸が撃沈された時のごとく船そうにい残ってそのまま沈み今も悪石島の沖八百米の海底に沈んだのもあり、荒海に飛びこみいかだにつかまり、幾日も⑫飢餓とたたかいながらついにもくずと消えた者もあった。

対馬丸の船倉に残りし学童の

深海の底に今も沈めり

息たえし母の乳房によりすがり

そのまま果てし乳飲児のあり

無実の者が銃殺もされた。壕の中に生き残り二カ月も三カ月も餓死とたたかいながら、ついに死にたえた者もあり、沖繩戦での一人一人の死にざまは(A) 千差万別である。死ぬ思いは【 C 【原爆で一瞬にして爆死したようなものではなく、⑬きよくげん状態に追いつめられて行ったあらゆる人間の死にざまをした。そのあらゆる死の苦悩があった。それは生きた人間の想像を【 D 【絶している。生きている人間にはつねに生きている喜びがともなう。その中の追想は死の思い出ではない。われわれ生きている者から、死者の死の思いにせまることは不可能である。この死の苦痛は広島島の原爆で爆死した者の比ではなかるう。次第に喜屋武⑭断崖へと追いつめられて行った者は、病院でも戦場でも死のさまさまを見せつけられた。【 E 【最後は如何にして安らかに死ぬかということが、最上の念願であった。(3) 二十万余のさまさまの死の思いを忠実に伝えることこそ、もっとも重大であるにもかかわらず、生きている人間にとっては不可能に近い。しかし如何にしてこれを可能に近づけるかが、もっとも重要なことである。この困難を克服することに、生き残った者に課されたもっとも重要な課題がある。われわれはこれに立ちむかわなければならぬ。

(仲宗根政善「死ぬ思いと死ぬような思い」『ひめゆりと生きて』琉球新報社、二〇〇二年)

問一 傍線部①から⑭の漢字にはひらがなで読みをつけ、ひらがなは漢字に直しなさい。

問二 【 A 】から【 E 】にあてはまるものを次のなかから選んで入れなさい。

【 決して さんさんと そのためはるかに もちろん 】

問三 (A) 千差万別と類似した言葉には○を、類似していない言葉には×を、それぞれつけなさい。

- ① 千載一遇 ② 海千山千 ③ 多種多様 ④ 多事多難

問四 (1) 死ぬ思いと死ぬような思いの違いを筆者はどうか考えているか。一〇〇字程度で説明しなさい。

問五 筆者は広島の大原爆の爆死と沖縄戦の犠牲を対比させているが、筆者は(2) 沖縄戦の実態をどのようにとらえているか。文中の言葉を用いながら一〇〇字程度で説明しなさい。

問六 (3) 二十万余のさまざまな死の思いを忠実に伝えることこそ、もっとも重大であるにもかかわらず、生きている人間にとっては不可能に近い。しかし如何にしてこれを可能に近づけるかが、もっとも重要なことであるとあるが、これに対してどう思うか。あなたの意見や感想を二〇〇字程度で書きなさい。